



[様式第3号]

資料提供年月日	令和5年2月13日	
問い合わせ先	課名	高齢者福祉課
	電話	直通 803-1230 内線 5957
担当者	職名・氏名	課長 高木
	職名・氏名	主任保健技師 岡崎

広 報 連 絡

<市長定例記者会見資料>

- 1 件 名 西日本初「チームオレンジ特別賞」の受賞について
- 2 趣 旨 市では、認知症の人やそのご家族の声を聴いたうえで行う地域づくりの取り組み「認知症サポーター活動促進事業」（チームオレンジ）を本年度からスタートしています。
このたび、岡山市の取り組みの中で生まれた「チームオレンジ」の活動が、全国キャラバン・メイト連絡協議会において、西日本で初めて優良事例として選考され、賞を受賞することが決定したのでお知らせします。
- 3 内 容
 - (1) 表彰について
全国キャラバン・メイト連絡協議会が、毎年全国からテーマに沿った認知症サポーターの活動事例を募集し、その中から選考した優良活動事例に対して表彰を行っているもの。
 - (2) 受賞する賞について
認知症サポーターキャラバン令和4年度「チームオレンジ取り組み事例」特別賞
 - (3) 受賞者
MK（まじでかいてき）あおぞら教室さくら組
※活動するチームの名称です。
- 4 表彰式・報告会
令和5年2月25日（土）13時からオンラインにて開催予定
※いずれもオンライン開催（ZOOMウェビナー）を視聴する方法です

(1) 個別視聴希望の方

詳細は全国キャラバン・メイト連絡協議会のホームページをご覧ください。

<https://www.caravanmate.com/>

(2) オンライン開催（ZOOMウェビナー開催予定）の観覧希望の方

以下のとおり募集します

場 所：岡山市立興除公民館2階 第1、第2講座室（岡山市南区中畦）

定 員：先着50名

申 込：2月24日（金）までに、公益財団法人岡山市ふれあい公社地域
包括支援課へ連絡（086-274-5136）。

岡山市チームオレンジの取り組み

令和5年2月13日
高齢者福祉課

1 チームオレンジ(認知症サポーター活動促進事業)とは

認知症の人がどう暮らしていきたいかの「声」を聴いた地域づくりを推進する取り組みです。
岡山市では、この取り組みを令和4年度から開始しました。

2 今回の受賞について

■表彰について

全国キャラバン・メイト連絡協議会(※)が、毎年全国からテーマに沿った事例「チームオレンジ取り組み事例」「認知症サポーターの活動事例」「認知症サポーターキャラバン優良啓発事例」を募集し、その中から、有識者による選考委員会が選考した優良活動事例に対してそれぞれに「最優秀賞」「優秀賞」「特別賞」が贈られ、表彰を行うもの。表彰の選考委員会は、大学、医療機関、研究機関、行政などの専門家とオブザーバーとして厚生労働省がメンバーに入っている。

※全国キャラバンメイト協議会は、認知症施策を推進するため、全国の自治体とともに認知症サポーターの養成や活動を進めている。

■受賞名

認知症サポーターキャラバン令和4年度「チームオレンジ取り組み事例」特別賞
「チームオレンジ取り組み事例」は、令和3年度から新設。受賞(最優秀賞、優秀賞含む)は、西日本で初。

■受賞理由(全国キャラバン・メイト連絡協議会の選考理由から抜粋)

- ・市の介護予防体操を行う交流グループがチームオレンジの趣旨に賛同し、認知症サポーターの自宅軒下を週1回、拠点として開放し、毎週約10名が集まる。
- ・初期集中支援チームが担当した認知症の当事者・家族のニーズをチームオレンジの活動につなげたほか、地域包括支援センター、町内会長、民生委員、生活支援コーディネーターとの協力、情報共有を行い、着実に地域のしくみづくりを進めている。
- ・当事者が「わからなかったら聞ける雰囲気」や自ら「ボランティアができること」を評価しており、参加するメンバーが楽しく、ためになることをできる場となる成果を上げている。

■表彰式・報告会について

令和5年2月25日(土)13時からオンラインにて開催予定(終了16:10予定)

※いずれもオンライン開催(ZOOMウェビナー)を視聴する方法です

①個別視聴希望の方・・・詳細は、全国キャラバン・メイト連絡協議会のホームページをご覧ください。 <https://www.caravanmate.com/>

②オンライン開催(ZOOMウェビナー開催予定)の観覧希望の方・・・以下のとおり募集します

場 所:岡山市立興除公民館2階 第1、第2講座室(岡山市南区中畦)

定 員:先着50名

申 込:2月24日(金)までに、公益財団法人岡山市ふれあい公社地域包括支援課へ連絡(086-274-5136)。

3 今回受賞するチームの概要

- チーム名 MK(まじでかいてき)あおぞら教室さくら組
- チーム代表者 元民生委員
- 活動メンバー 11名(チーム代表者、認知症サポーター7名、当事者2名、家族1名)
- 活動場所 南区西畦(曾根小学校区:高齢化率30.7%R4.9月時点)
- 関係機関 地域包括支援センター、初期集中支援チーム員、認知症地域支援推進員、当事者のケアマネジャー介護予防センター、保健センター、興除中学校区地域づくり会議

《チームとして活動開始をした経過》

■きっかけ①(既存の社会資源) 令和3年11月

体操をきっかけに地域の方々が集い、参加者が気軽に交流ができる場「MK(まじでかいてき)あおぞら教室」が立ち上がる

■きっかけ②(当事者・家族の声) 令和4年1月～4月

地域包括支援センターが関わる当事者とその家族から、介護保険導入までの間の居場所についてのニーズがでていた

■地域、当事者・家族への説明 令和4年5月～6月

地域包括支援センター等から、町内会、民生委員会等の地区組織やチーム代表者へチームオレンジの趣旨を説明

■チーム立ち上げに向けての準備 令和4年7月～9月

当事者やその家族を含むメンバーで、活動開始への意見交換

■チーム名の決定 令和4年10月11日

メンバーの一部で活動開始

■キックオフ 令和4年12月20日

メンバーが揃うこの日から本格的な活動をスタート
最初は、生け花とお茶会を楽しみました

当事者の声

自分のために、
人にボランティアを
することがいい。

詳しくは、
市ホームページを
ご覧ください→

